

## 佐渡島

# 里山農業の 未来デザイン

世界農業遺産の島として挑む大切なミッション。

さまざまなナレッジと技術をつなぎながら、

生物多様性と農業技術革新が共存する

里山の未来のカタチを探ります。



佐渡市



新潟大学  
NIIGATA UNIVERSITY



# ミッション

佐渡市と新潟大学は、  
大規模化や集約化が困難な佐渡島の  
小さな農業を支えるために、  
地域の農業者と多彩な分野の技術者・研究者をつなぎながら、  
風土にあった技術開発の可能性を共に探る試みを始めました。  
大切にしているポリシーは、  
農業を生物多様性の保全につなげていくこと。

人びとのニーズを明らかにしながら  
地域が進むべき方向性を探る「里山未来会議」と、  
多彩なシーズを探索しながら  
課題解決のアイデアを探る「ソリューション探索会議」を両輪に、  
実装へとつながる技術開発を検討します。

## 里山未来会議

地域の農業者と  
技術者・研究者が集う  
対話型協働探究の場

## ソリューション 探索会議

さまざまなシーズ(技術や知識)  
を組み合わせ  
課題解決のアイデアを探る

## プロジェクトの進め方

### 1 ニーズ共有

里山未来会議で、  
地域のニーズや  
課題を話し合  
います。

### 2 課題の設定と 解決策の 検討

話し合いの結果  
を分析し、課題  
解決の可能性を  
技術者・研究者  
が検討します。

### 3 技術提案の アイデアの 評価

課題解決策の提  
案を、農業者・技  
術者・研究者が  
話し合いながら  
評価します。

### 4 選択肢の 絞り込み

各地域において  
どのような事業  
を展開するか、  
アイデアを絞り  
込みます。

### 5 プランづくり

課題解決のため  
の技術開発や実  
験の計画を考え  
ます。

### 6 技術開発 ・実装

技術開発を進  
め、地域での試  
験的実装を試み  
ます。

### 7 里山農業 佐渡モデルの 構築

里山農業を支  
える取り組みを  
体系化し、佐渡  
ならではのモデル  
を作ります。

## 生物多様性の保全に取り組む島

佐渡島では、一度絶滅した鳥であるトキの野生復帰事業に、長い間取り組んできました。トキが生息できる環境を作るためには、生きもの豊かな農村景観の保全が不可欠です。そこで、生物多様性の保全を軸に地域の農業の特色化に取り組み、2011年には「トキと共生する佐渡里山」として世界農業遺産に認定されました。国際的に認められた里山の風景をいかに次世代に繋いでいくかが課題となっています。



## ● 活動の展開

5年後、10年後……。地域の農業はどうなっているだろう？

2019年9月より、新穂湯上集落と歌見田(団地型ほ場)の農業者を対象に、里山未来会議を始めました。参加者のみなさんに、耕作を継続するうえで課題になっていること、将来の望ましい変化などを、ざっくばらんに話していただきました。地域の声を受け、どのような技術解決が可能かを技術者・研究者が検討し、地域農業者とキャッチボールをしながら技術提案を煮詰めていきます。

自然資源を  
うまく  
活用したい

半農半Xの  
可能性を  
探りたい

条件のよい  
田んぼを  
うまく残して  
いけないか

草刈り・  
害虫防除を  
省力化したい



## ● 事業推進チーム

佐渡市と新潟大学のほか、地域農業者、研究機関、企業等がメンバーとなり、プロジェクトの方向性を検討し、さまざまな活動を推進します。



統括プランナー  
**豊田光世**

新潟大学佐渡自然共生科学センター  
准教授



生物多様性アドバイザー  
**満尾世志人**

新潟大学佐渡自然共生科学センター  
准教授



地域コーディネーター  
(新穂湯上エリア)  
**板垣徹**



地域ネットワーク  
**中川克典**

佐渡市農業政策課農業企画係  
係長

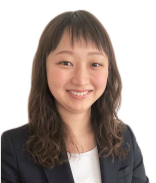


産学連携ファンドレイジング  
プロデューサー  
**高島徹**

新潟大学地域創生推進機構  
准教授



地域コーディネーター  
(歌見田エリア)  
**兵庫勝**



コミュニケーション・マネージャー  
**北愛子**

新潟大学佐渡自然共生科学センター  
特任助手



地域コーディネーター  
(歌見田エリア)  
**竹林雅喜**



里山農業アドバイザー  
**大石惣一郎**  
佐渡棚田協議会  
会長

参加法人・研究室 (2019年10月20日時点)



神戸市立工業高等専門学校 都市工学科 高田研究室

里山農業の可能性を  
さまざまな視点から  
見出そう



## 里山農業の未来を一緒に考えませんか？

本事業では、「里山未来会議」を通して、地域のニーズや課題を整理し、  
農業者、技術者、研究者等が解決策を共に考えていきます。

事業に関心のある地域、農業者、企業、大学・研究機関等のみなさま、  
参加のお申し込みやご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先

新潟大学 佐渡自然共生科学センター

新潟県佐渡市新穂湯上1101-1

tel. 0259-22-3885 (担当 豊田・北)

email : sado.satoyama@gmail.com

SDGsの目標達成に貢献します



8 働きがいも  
経済成長も



9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



11 住み続けられる  
まちづくりを



15 陸の豊かさも  
守ろう

